



# 架け橋

第8号

(令和3年11月2日発行)

ホームページ：<http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail：[mihashi-j@saitama-city.ed.jp](mailto:mihashi-j@saitama-city.ed.jp)

学校教育目標：ゆたかに・かしこく・たくましく

## 「三橋中生の底力」

校長 芳崎 正道

10月上旬にはまだ冷房を使用する日が続く、「この暑さは一体いつまで続くのだろう」と懸念していたのもつかの間、あっという間に、日によっては最低気温が10℃を下回るなど、気温・気候が著しく変化する中、職員玄関からグラウンドに降りる坂の左手にたたずむモミジの葉が、日に日に紅さを増し、秋の深まりを感じています。そんな10月、本校では、体育祭、生徒会役員選挙、駅伝、そして合唱コンクールが実施されました。



モミジ（職員玄関前）

体育祭は、5日に開催しました。昨年同様、コロナウイルス感染防止のため、生徒・教職員のみで、種目を精選しての実施でしたが、「一瞬の輝き 一生の記憶」をスローガンに、子どもたちは本当によく頑張り、すばらしい体育祭でした。一人ひとり、実にひたむきに競技に向き合い、また仲間の真剣な姿勢に全力で声援・応援をするなど、クラス一丸となって取り組む様子に、「輝き」を感じ、「記憶」に強く残る体育祭になりました。感染防止のための様々な制限が長引く中、子どもたちの笑顔と活気にあふれる体育祭を開催できたことに、大きな喜びを感じました。

12名が立候補した生徒会役員選挙・立会演説は、密を避け、各教室へのオンライン配信により20日に実施し、25日には本部役員任命式を行い、新たな生徒会本部がスタートしました。

26日には、さいたま市中学校駅伝大会が駒場スタジアムで開催され、何と、本校は総合順位で男子5位、女子10位となり、男女ともに入賞という快挙を達成しました。

「駅伝部」として40名が、ほぼ約一ヶ月にわたり、日々、早朝・放課後、練習を重ねてきました。当日のレースは、タスキをつなぐ通常の方法ではなく、各組で一斉スタートし、タイムを集計する方式で行われました。本校の選手は、応援・サポートの生徒とともに、「チーム三橋」としてそれぞれが精一杯ベストを尽くし、底力を発揮した結果、男女ともに入賞を果たしたのです。

30日には、マスク着用・参観生徒数制限のもと、合唱コンクールを開催しました。どのクラスも、日頃の練習の成果を発揮すべく、創り上げた合唱・歌声を、仲間とともに精一杯、歌声を響かせていました。聴く者の心に訴えかける懸命な姿勢に、感動を覚えました。

着任後、本校の子どもたちを見て、「本校の生徒は、クラスや部活等、「集団・チーム」として取り組む際、互いを刺激し高め合うとともに仲間の力を引き出すことができる。結果、いざというとき、高め、秘めてきた底力を存分に発揮できる強さに繋がっている。」と感じています。

一日も早くコロナ禍が収束し、保護者・地域の方々に三橋中生の活躍の様子を公開できる日が来ることを願っております。御理解・御協力いただきますよう、お願い申し上げます。